

## 2 県立病院事業概況

平成 22 年度の事業の概要は次のとおりである。

### (1) 診療状況

平成 22 年度に県立病院で診療を行った患者数は、入院が延べ 157,092 人で前年度と比較して 421 人(0.3%)増加し、外来は延べ 263,457 人で前年度と比較して 7,050 人(2.6%)減少している。

病院別に見ると、入院では南会津病院、大野病院を除く 4 病院で減少している。また、外来では南会津病院を除く 5 病院で減少している。

次に、診療科別に見ると、入院では内科、小児科、整形外科で増加し、外科外 4 診療科で減少している。また、外来では産婦人科(産は休診)、小児科、整形外科、皮膚科で増加し、内科外 5 診療科で減少している。

### (2) 施設設備の整備

ア 生活療法棟耐震化工事(矢吹病院)、ボイラー改修工事(南会津病院)等 3 病院の庁舎等改修工事を行った。

イ 会津医療センター(仮称)建築・設備工事の発注を行った。

ウ 血圧監視装置(喜多方病院)、超音波内視鏡システム(会津総合病院)、院内画像ネットワークシステム(宮下病院)、生化学自動分析装置(南会津病院)、全自動同定感受性検査装置(大野病院)等の医療機器の購入整備を行った。

### (3) 収支状況

平成 22 年度における総収益は 11,629,654 千円で、前年度と比較して 104,701 千円(0.9%)減少している。一方、総費用は 13,097,675 千円で、前年度と比較して 370,463 千円(2.8%)減少している。この結果、差引純損失は 1,468,021 千円となり、前年度と比較して 265,762 千円(15.3%)減少している。

また、医業収益の 7,556,330 千円から医業費用の 12,629,170 千円を差し引いた医業損益は 5,072,840 千円となり、損失額が前年度と比較して 305,315 千円(5.7%)減少している。この結果、総収益対総費用比率は 88.8%、医業収益対医業費用比率は 59.8%となっている。

主な費用について見ると、給与費は 7,746,207 千円で前年度と比較して 598,422 千円(7.2%)減少したが、これは退職手当の減などによるもので、医業収益に対する割合では 102.5%となり、前年度より 7.6 ポイント減少している。また、薬品費等の医療材料費については 1,499,802 千円で、会津総合病院における血液内科開設(平成 22 年 4 月)などにより、前年度と比較して 107,672 千円(7.7%)増加しており、医業収益に対する割合も 19.8%と前年度より 1.4 ポイント増加している。

累積欠損金は、前年度より 1,468,021 千円増加して 25,644,390 千円となり、医業収益に対する累積欠損金比率は 339.4%と前年度と比較して 20.4 ポイント増加している。なお、一般会計から負担金・補助金として繰り入れた額は、収益的収入 4,894,421 千円、資本的収入 1,104,939 千円で合計 5,999,360 千円となっており、前年度と比較して 592,268 千円(9.0%)減少している。